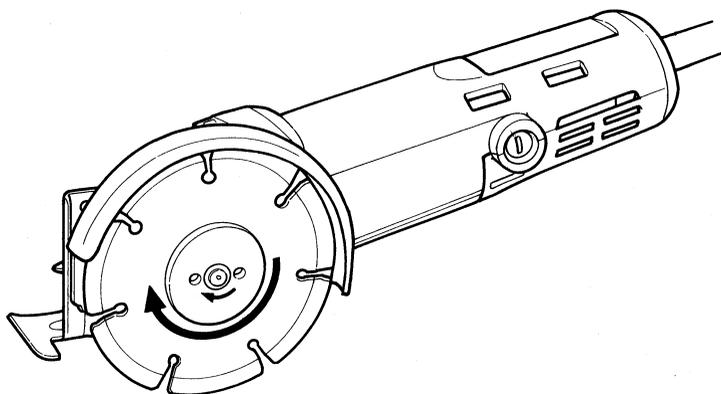
Hitachi Koki

日立カッタ

105 mm **CM 4Y2** 〔ダイヤモンドホイール付〕
CM 4Y2 (N) 〔ダイヤモンドホイール別売〕

取扱説明書

このたびは日立カッタをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

HITACHI

目　次

ページ

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」，「⚠ **注意**」，「**注**」に区分しており，それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告　**：誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠ 注意　**：誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠ **注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注　**：製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。

- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。

- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。
- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では，耳栓，イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ（延長）コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。
- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

カッタの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，カッタとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① **使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に高速となり，けがの原因になります。

② **必ずアース（接地）してください。**
故障や漏電などのとき，感電の恐れがあります。（詳細は，10ページの「1．アース（接地），漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。）

③ **作業する箇所に，電線管・水道管などの埋設物がないことを，作業前に十分確かめてください。**
埋設物があると，ダイヤモンドホイールが触れ，感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり，事故の原因になります。

④ **ホイルガードは，必ず取り付けて使用してください。**
ダイヤモンドホイールが破損したとき，けがの原因になります。

⑤ **ダイヤモンドホイールで金属の切断をしないでください。**
金属の切断をすると過熱して寿命を著しく短くし，また，破損し，けがの原因になります。

⑥ **使用中は，本体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと，けがの原因になります。

⑦ **使用中は，ダイヤモンドホイールや回転部，切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

⑦

⑧ **切断途中でダイヤモンドホイールを回転させたまま本体を戻さないでください。その場合，スイッチを切り，回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。**
強い反発力が生じ，けがの原因になります。

⑨ **水，研削液などは使用しないでください。**
乾式用のため，感電の恐れがあります。

⚠ 警　告

⑩ **本体を万力などで保持した使い方はしないでください。**

ダイヤモンドホイールが破損したとき，けがの原因になります。

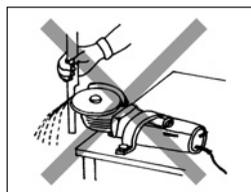
⑩
⑪ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**

そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑫ **誤って落としたり，ぶつけたときは，ダイヤモンドホイールや機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。**

破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⑬ **継ぎ（延長）コードを使用するときは，アース線を備えた３心キャブタイヤケーブルを使用してください。**

アース線のない２心コードですと，感電の原因になります。

⚠ 注　意

① **ダイヤモンドホイールや付属品は，取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**

確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② **ダイヤモンドホイールにヒビ，割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**

ダイヤモンドホイールが破損し，けがの原因になります。

③ **使用中は，軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**

回転部に巻き込まれ，けがの原因になります。

④ **作業前に，人のいない方向にダイヤモンドホイールを向けて空転させ，機体の振動やダイヤモンドホイールの面振れなどの異常がないことを確認してください。**

異常があると，けがの原因になります。

⑤ **切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。**

強い反発力が生じ，けがの原因になります。

⚠ 注　意

⑥ **材料に釘などの異物がないことを確認してください。**
刃こぼれだけでなく，反発により思わぬけがの原因になります。

⑦ **切断しようとする材料の前方に手を置いたり，コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。**
手を切ったり，コードを切断し，感電の恐れがあります。

⑧ **回転するダイヤモンドホイールで，コードを切断しないよう注意してください。**
感電の恐れがあります。

⑨ **回転させたまま，台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。

⑨

⑩ **高所作業のときは，下に人がいないことをよく確かめてください。また，コードを引っかけたりしないでください。**
材料や機体などを落としたときなど，事故の原因になります。

各部の名称

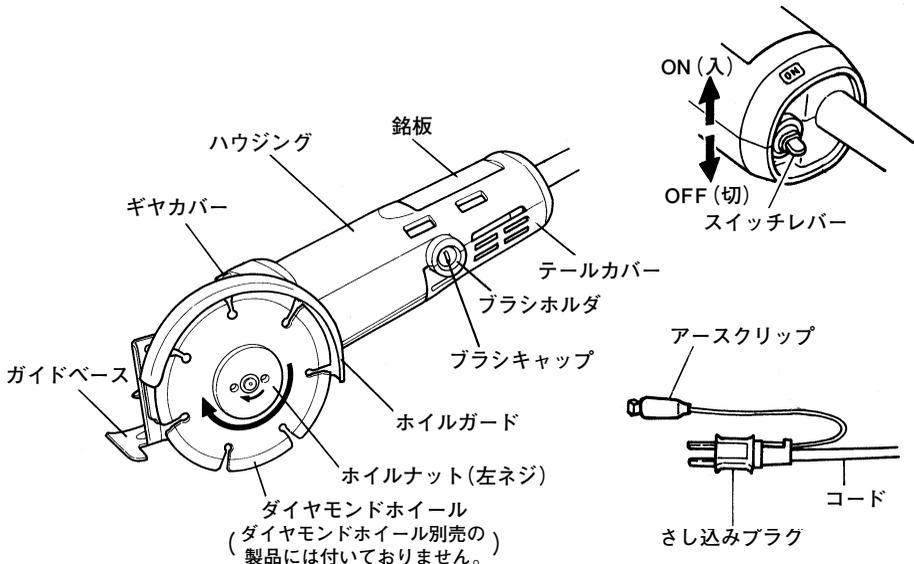
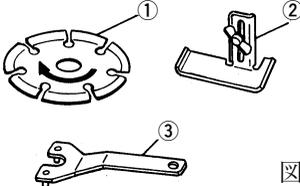
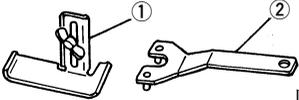



図　1

仕　　様

使用電源	単相交流 50／60 Hz　共用 電　圧 100 V
ダイヤモンドホイール寸法	外径 105 mm×厚さ 1.2 mm×穴径 20 mm
切込み深さ	0～22.5 mm（ダイヤモンドホイール 105 mm の場合） 3～25　mm（ダイヤモンドホイール 110 mm の場合）
無負荷回転数	9000 min^{-1} ｛9000 回／分｝
全負荷電流	6.5 A
消費電力	620 W
モーター	単相直巻整流子モーター
質量	2.0 kg（コードを除く）
コード	アースクリップ付３心キャブタイヤケーブル 2.5 m

標準付属品

CM 4Y2	① ダイヤモンドホイール……１枚 ② ガイドベース組……………１組 ③ スパナ……………………１個 図２－１
CM 4Y2（N）	① ガイドベース組……………１組 ② スパナ……………………１個 図２－２

別売部品

…………（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

（図中下段の６桁の数字はコードNo.を示します。）

1．ダイヤモンドホイール

939592

図３－１

○ **セグメントタイプ（乾式用）**

外径 105 ㎜×厚さ 1.2 ㎜×穴径 20 ㎜

このほかにも，切断材料に適した乾式用の各種ダイヤモンドホイールを別売しておりますので，お買い求めの販売店にご相談ください。

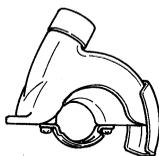
2．集じんセット

986382

図３－２

○ 電動工具用集じん機（別売品）で集じんする場合に用います。取付け方は，16 ページをご参照ください。なお，電動工具用集じん機については，お買い求めの販売店にご相談ください。

用　　途

用　　途	使用する別売部品
コンクリート，各種かわら，各種タイル，各種石材の切断・すじつけ	ダイヤモンドホイール（乾式用）

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

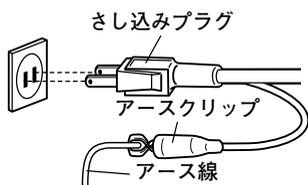
1．アース(接地)，漏電しゃ断器の確認………

ご使用にさきだち，本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置(以下，漏電しゃ断器と言います)が設置されていることを確認してください。

また，本機は必ずアース(接地)をしてください。定格感度電流15mA以下，動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも，より安全のためにアースされるようおすすめします。

アースをするときは，下記図のアースクリップをお使いになると便利です。

アースクリップ，アース線は，念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら，アースクリップと本機金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極(アース板，アース棒)を埋め，アース線を接続するなどの接地工事は，電気工事士の資格が必要ですので，お近くの電気工事店にご相談ください。なお，アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがありますので，絶対にしないでください。

漏電しゃ断器やアース(接地)については，次の法規がありますので，ご参照ください。

労働安全衛生規則(第333条，第334条)
電気設備の技術基準(第18条, 第28条, 第41条)

2．継ぎ(延長)コード………

⚠ 警　告
• **継ぎ(延長)コードは，損傷のないものを使用してください。**

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm²	15 m
2 mm²	25 m
3.5 mm²	45 m

左の表は，使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

必ずアース(接地)できる接地用の1心をもつ3心キャブタイヤケーブルをお使いください。

3．作業環境の整備・確認………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告
• **ご使用前に次のことを確認してください。１～７項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，機体が破壊する恐れがあります。

また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故のもとになります。

スイッチはスイッチレバー（図１参照）をON（**入**）側に倒すと入り，OFF（**切**）側に倒すと切れます。

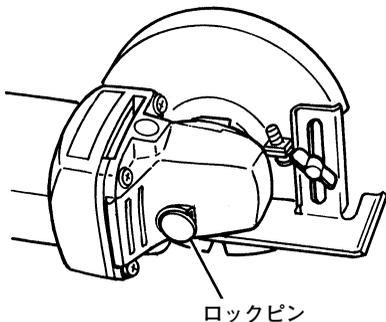
スイッチレバーがOFF（**切**）になっていることを必ず確認してください。

3．ホイルガードの確認………

ホイルガードはダイヤモンドホイールが破壊した場合の保護のためのものですから，必ず取付けてください。ホイルガードは小ネジ（２本）（次ページの図５参照）を少しゆるめることにより任意の角度に動かすことができます。

作業に適した角度にセットしてご使用ください。調整後は，小ネジ（２本）を確実に締付けてください。

4．ロックピンの確認………

図　4

ロックピンを押して，離したとき確実に戻ることを確認してください。

5．ダイヤモンドホイールの確認および取付け………

ダイヤモンドホイールは正規のものか，またヒビ，割れ，曲りなどがないか十分お調べください。ダイヤモンドホイールは正規の状態に取付けられ，十分締付けられているか点検してください。

ダイヤモンドホイールの取付けは15ページ「ダイヤモンドホイールの取付け・取りはずし」の項をご参照ください。

6．ガイドベース組の取付け………

⚠ 警　告

- **ガイドベース組の小ネジが十分締まっていることを確認してください。ゆるんでいると，けがの原因になります。**

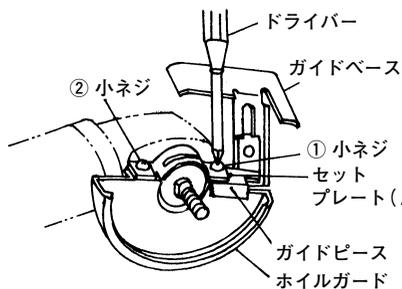
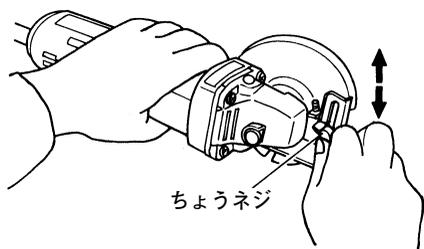



図　5

(1) ホイルガードの小ネジ（２本）をゆるめます。
(2) ガイドピースをホイルガードとセットプレート（A）の間にはさみ込み，①小ネジを十分締付け，動かないように固定します。
(3) ホイルガードの角度を作業に合った位置にセットし，②小ネジを十分に締付け，ホイルガードを固定します。

7．切込み量の調整………

図　6

切込み量の調整はちょうネジをゆるめて行ないます。

注
- コンクリート・タイル・石材などの切断は，１回の切込み深さを５㎜以下にしてご使用ください。５㎜をこえる切込み深さで使用すると，モーターに無理をかけ，焼損の原因になります。
- 切込み深さが５㎜をこえる深さのときは，２～３回に分けて切込んでください。

8．電源コンセントの点検………

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと，過熱して事故の原因になります。

切　り　方

⚠　警　告

- 使用中，ダイヤモンドホイールが止まったり，異音を発したときなどには直ちにスイッチを切ってください。
- 切断中に本機をこじったり，強く押しすぎると反発力を受け，けがの原因になります。まっすぐに静かに進めるようにしてください。
- 使用前に，必ずダイヤモンドホイールを点検してください。
  ヒビ，割れ，曲りがある場合は使用しないでください。
- ジグザグ切断，曲線切り，側面使用，傾斜切断などには使用しないでください。
- 保護メガネを使用してください。
- 水や研削液などをかけて使用しないでください。
- 作業中断時や作業後は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

⚠ 注　意

- 回転するダイヤモンドホイールでコードを切断しないよう注意してください。

注
- 切断を始める前にダイヤモンドホイールの回転が全速回転になるようにしてください。
- 回転中には，ロックピンを押さないでください。また，ロックピンを押したままでスイッチを入れないでください。

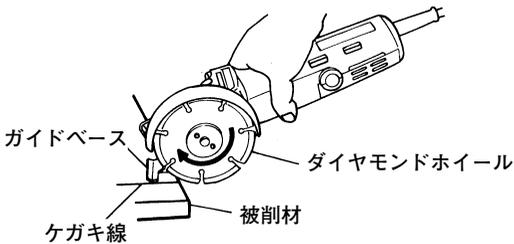



図　7

1．被削材の上に本体（ガイドベース）をのせ，ケガキ線とダイヤモンドホイールの位置を合わせます………

2．ダイヤモンドホイールが被削材に触れない状態でスイッチを入れます………

3．スイッチの操作………

スイッチはスイッチレバー（図１参照）をON（**入**）側に倒すと入り，OFF（**切**）側に倒すと切れます。

4．使用直後の注意………

使用後はスイッチを切って，ダイヤモンドホイールの回転が止まってから本機を置いてください。

回転が止まらぬうちに切粉やごみの多い場所に置きますと，切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。

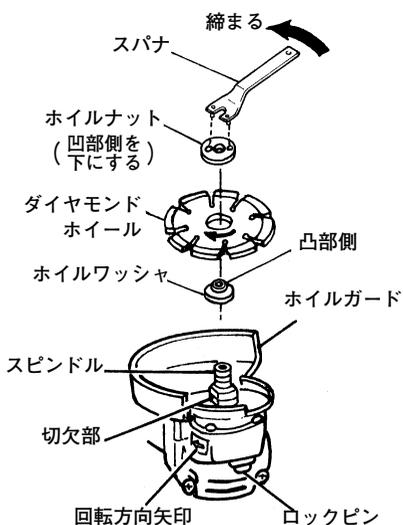
ダイヤモンドホイールの取付け・取りはずし

⚠ 警　告

- **万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

⚠ 注　意

- **ホイルナットは，必ず付属のスパナを使って十分に締付けてください。**

図　8

1．取付け方 (図8)

(1) スピンドルを上に向け，ホイルワッシャの凸部を上に向けてスピンドルに取付けます。
(2) ダイヤモンドホイールの矢印回転方向を，本機の回転方向(ギヤカバーに貼付けてある矢印の方向)に合わせてホイルワッシャの凸部に取付けます。
(3) ホイルナットの凹部をダイヤモンドホイール側にして，スピンドルに取付けます。
(4) ロックピンを押してスピンドル軸を固定し，スパナでホイルナットを十分に締付けます。

2．取りはずし方

○ ダイヤモンドホイールを取りはずす場合は，上記取付けと逆手順に行なってください。

注

- **ロックピンを押して離したときに，確実に戻ることを確認してください。**
- **ホイルナットのネジは，ディスクグラインダとは逆の左ネジになっております。**

集じんセットの取付け方・使い方 …… 別売部品

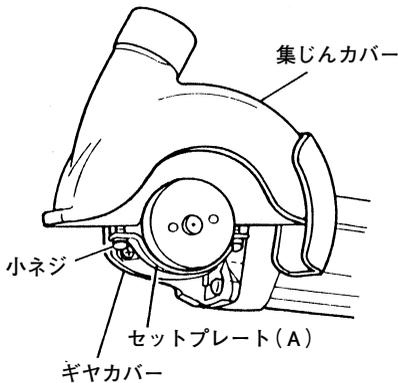



図　9

● 本機に別売部品の集じんセットを取付け，別売品の電動工具用集じん機に接続してご使用ください。
切断粉が飛散せず，衛生的な作業ができます。

○ 集じんセットの取付け

(1) セットプレート(A)の小ネジ（２本)をゆるめ，ギヤカバーに取付けます。
(2) 集じんカバーの角度を作業に合った位置にし，小ネジ(２本)を十分に締付け固定します。(図９)

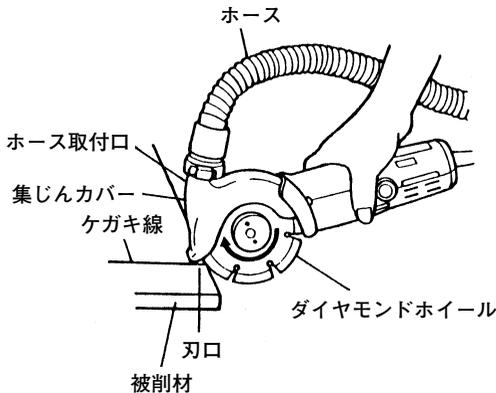



図　10

○ 集じんセットの使い方

(1) 集じんセットを取付け後，ダイヤモンドホイールを取付けます。
(2) 集じんカバーのホース取付口に，電動工具用集じん機のホースを取付けます。(図10)
(3) 被削材の上に集じんカバーをのせ，ケガキ線とダイヤモンドホイールの位置を合わせ，刃口が開かないようにして切断します。(図10)

注 • **ガイドベースは取付けないでください。**
被削材と集じんカバーが開いて，集じん能力が低下します。

保守・点検

⚠　警　告
• **点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．ダイヤモンドホイールの点検………

摩耗したダイヤモンドホイールをご使用になっておりますと切れ味が悪くなりモーターに無理をかけることになります。また能率も落ちますから早めに新品と交換してください。

2．各部取付けネジの点検………

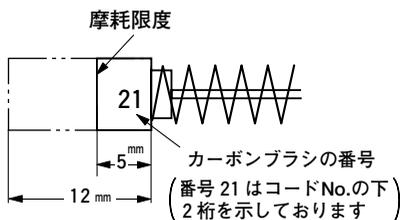
各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

3．カーボンブラシの点検………

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度（5㎜）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

図　11

また，カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注　• **新品と交換の際は，必ず図示の番号（21）の日立カーボンブラシを使用してください。**

交換方法　カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ（図1参照）をはずしますと取り出せます。

4．モーター部の取扱いについて………

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注　• **モーター内部にゴミやほこりがたまると，故障の原因になります。50時間ぐらい使用しましたら，モーターを無負荷運転させて，湿気のない空気をテールカバーの風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。**

5．製品や付属品の保管………

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○温度が急変する場所
- ○直射日光の当たる場所
- ○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営 業 本 部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティＡ棟） ☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル） ☎(011) 271-4751(代)
東 北 支 店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676(代)
東 京 支 店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティＡ棟） ☎(03) 5783-0629(代)
中 部 支 店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル） ☎(052) 262-3811(代)
北 陸 支 店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 ☎(076) 263-4311(代)
関 西 支 店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル） ☎(06) 4796-8451(代)
中 国 支 店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル） ☎(082) 228-0537(代)
四 国 支 店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191(代)
九 州 支 店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772(代)

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

508

部品コード　C99036604　N